

府中市地域公共交通計画（素案）に対する意見（パブリックコメント）と回答

1. 募集期間 令和6年2月15日～令和6年3月4日
2. 意見の提出者数 2名
3. 意見の内容と回答 下表のとおり

提出者 No.	意見 No.	意見	回答（案）
1	—	<p>高木中須の辺が大型の大企業の商業地域になっていて、郊外へ、郊外へ拡散していて、車社会になっています。JR 福塩線府中駅から三次駅区間も必要で経済性とかエコで環境面で優れています。工夫して乗りやすいようにして、マイカーよりも電車利用を推進した方がいいと思います。商店街は業務の宅急便とかトラックの配達で交通量が多いです。郵便の配達のパイクとか庶民の自転車とか年寄りや高齢者の徒歩とか犬の散歩とかも多いです。</p> <p>出口町の開発が遅れていて、移民とか移住のコミュニティーにしたらいいと思います。小型のワゴンタイプのバスが運行すればより一層便利になると思います。移住の目安になるのが交通基盤が整っているかとかです。結婚も山の方とか海の島の方とかもどうもと思う時もあります。終戦直後は男の人はリアカーを走らせて、懸命に働いていたと聞きました。</p>	<p>本計画の策定に向けた各種アンケート調査の結果等を見ても、市民等の目的地の拡散状況や自家用車への依存度は高まっております。また、一度に多くの利用者を輸送することが鉄道の強みであるため、一定の利用があつて初めて経済性や環境面においてメリットが出てくるものと考えておりますので、利用促進を事業として位置づけ今後取り組んでいく予定としております。中心市街地の混雑緩和や歩きやすい環境づくりについては、関係部署と連携を図りながら、進めてまいります。</p> <p>出口町等の特定の地域における新たなバスの導入については、市のまちづくりや居住誘導の方針と整合を図りながらまちづくり全体の中で今後検討してまいります。いただいたご意見は、その際の参考にさせていただきます。</p>
2	(1)	<p>グリーンスローモビリティは本計画の対象に入っていないようですが、鞆の浦や尾道市では導入されている。</p> <p>以前、府中市はグリーンスローモビリティのアンケートや実証実験？を行ったという記憶がありますが、その結果、導入の現実性をどうみているか？</p> <p>府中市では導入する区域、および、必要性はないと判断したのか？</p> <p>導入を現在も検討しているなら、どこの区域を想定して今後どのような展開を想定しているのか？</p>	<p>近隣市町におけるグリーンスローモビリティの導入状況については承知しております。</p> <p>ご意見のとおり、本市でも令和4年に住民や中心市街地の施設利用者に対するアンケート調査等を行い、導入に対する一定の需要は確認しております。一方、導入に向けては運行の担い手確保や持続可能性など、様々な課題があると感じているところです。</p> <p>現時点で具体的な計画があるわけではありませんが、地域の移手段を検討する際の取り得る選択肢の一つとして引き続き考えてまいります。</p>

提出者 No.	意見 No.	意見	回答（案）
2	(2)	<p>2024年に解禁されるライドシェアは本計画の対象に入っていないようですが、ライドシェアの導入が最適だという区域が存在しているのではないのでしょうか？実証実験（社会実験ではない）としてライドシェアを限定的区域で行ってほしい。</p> <p>本計画は令和10年までの計画ですが、時代の変化は想定以上にテンポよく進んでいくことがありますし、時代に取り残されない先進的な地方公共団体も目指してほしい。</p>	<p>現時点で、早急にライドシェアの導入を進めるという考えはありません。鉄道駅やバス停から離れていて公共交通が利用しにくい地域については、既存の乗合タクシーのエリア変更・拡充、一般乗用タクシーの活用、自家用有償旅客運送の導入等の様々な手段を念頭に置きつつ、交通事業者や地域住民との連携を図りながら移動利便性の向上に取り組んでまいります。</p> <p>また、ご意見のとおり計画期間中に社会情勢や地域の状況が変わることも考えております。時代の変化に柔軟に対応できるよう、必要に応じて計画の見直しを検討してまいります。</p>
	(3)	<p>電動キックボードは本計画の対象に入っていないようですが、府中駅前や道の駅で、電動キックボードをレンタルやシェアリングサービスがされれば、そこからポムポムまでのルート等やその他のルートの往來の移動に助かり賑やかにできるのではと思うのですが、どうお考えになられますか？</p>	<p>中心市街地における目的地間の周遊性向上及び幹線につながる支線（二次交通）の充実、本計画における重要な課題であると認識しております。</p> <p>電動キックボード導入の先進諸国の現状も踏まえつつ、いただいたご意見は、支線（二次交通）の充実について具体的な検討を進める際の参考にさせていただきます。</p>
	(4)	<p>府中市は「ドローンネイティブシティプロジェクト」を進めている。</p> <p>人間が乗って移動できるドローンの開発が世の中では行われているが、府中市も府中市内のメーカーによる人間乗車用ドローンの開発をして、府中市に来れば、他市町ではできない夢のドローン乗車移動体験ができるようにしたらどうか？</p>	<p>ご意見のとおり、本市においては、ドローンに関する幅広い産業、人材、研究機関等が集積し、「ドローンが当たり前活躍するまち」の実現に向け、プロジェクトを進めております。令和4年12月の法改正により、「有人地帯上空、目視外、補助者なしの自動飛行」が可能となりましたが、まだまだ技術的、社会的な課題が多い状況と捉えています。</p> <p>ドローンが地域課題解決のツールとして当たり前に使われるためには、技術力の向上と社会受容性の向上が必要で、府中市では、技術力向上のための実証実験の誘致や実施、社会受容性向上のためのドローンフェスなどに取り組んでいます。</p> <p>現在、市内で人が乗車できるドローンの開発は行われていませんが、いただいたご意見を参考にしながら、今後も技術開発の動向を注視してまいります。</p>